

## 第 62 回 番組審議会議事録

1 開催年月日：平成 31 年 3 月 17 日

2 開催場所：ビナレッジ 203 号室

3 委員の出席

委員総数： 7 名

出席委員数： 4 名

出席委員の氏名： 加藤 恵子 委員  
原 克利 委員（委任状 提出）  
店網 裕子 委員  
武井 健寿 委員

欠席委員の氏名： 小林 薫 委員  
飯島 辰子 委員  
鈴木 義信 委員

放送事業者側出席者名：天野 哲也

4 議題：

1 月～3 月までの生放送番組の内容及び放送に関する気になる項目について

5 議事の概要：

- ・中学生の体験学習について
- ・新パーソナリティについて
- ・防災放送について

6 審議内容：（各委員の発言及び放送事業者側の説明又は回答をできるだけ詳細に記載すること。）

委員より「中学生の体験学習については、今年は今までよりも増えた感じがありますか？」との問いに対して、局側は「昨年度よりも 1 校増えておりますので、登場回数も増えております。毎年体験学習で弊社に来られるのは海老名・有馬中学校、横浜市の瀬谷中学校でした。今年からは、海老名市内の柏ヶ谷中学校が加わっております。」と回答した。委員より「中学生が一生懸命しゃべっているのは、非常に微笑ましい、来年もこのまま続けて欲しい。」という発言があり、局側は「学校側からの要請は受け入れる予定で考えています。」と回答しました。

委員より「前回の審議会で新しいパーソナリティがデビューしたので、聞いてみたが、少し個人の話が多いのではないか？」との問いに関し、局側は「まだ話のリズムが作れていないのか、どうしても個人的な話が増えてきてしまっています。今後今の点を注意するよ

う指導していきます。」と回答した。

委員より「横並びの番組に対して、番組構成等が一部変えたりしている方は少し気になりました。特にインタビューが浅く聞こえる事が多いのが気になります。せっかく話を聞いているのに、パーソナリティが踏み込んで話を聞けていない事が見られます。あまり興味が無いということなのではないでしょうか？」と質問があったので、委員からも「時々気になります。あんまり深く話をされていない事がよくある。もったいないと思います。」と指摘が上がった。局側より「確かに少し踏み込めない所がある方がいらっしゃいます。初めて会う方に対して少し距離感が難しいのか時々見受けられます。各担当パーソナリティに指導していきます。ありがとうございます。」と回答した。

委員より「防災情報について近所の方から海老名の防災放送と違うのはなぜかという質問を聞いたのですが、どうでしょうか？」との問いに関して、局側は「FMカオンでは、行政放送の防災放送とは違う情報を放送しています。行政放送は、注意喚起が多いので、ラジオでは具体的な対処法などを上げて放送しています。例としまして、停電時に使うろうそくの注意するべき事等具体例を上げさせていただいております。」と回答した。

委員「新しいパーソナリティの金曜の声の高い人、だいぶ良くなった気がします。このまま努力してほしいと思います。」という発言があり、局側は「ありがとうございます、本人も家族に協力してもらい毎時間感想をもらうなどして日々頑張っていますのでこれからも宜しくお願い致します。」と回答した。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日：(答申又は改善意見の内容及びその年月日を併せて記載すること。)

- ・ 3月27日：パーソナリティ担当者に、今回の審議会で伝えられたことに関して、一人と言わず各員改めて、基本に戻って頑張ってもらうように指導する。思い当たるパーソナリティにも指導を行う。
- ・ 4月4日：新人パーソナリティに対して、個別に内容を話し注意するように伝えた。本人も気を付けるという回答をする。

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表：

- ・ 公表の方法：事務所への備置き  
HP 掲載は、4月8日
- ・ 公表の内容：出席と欠席の委員名  
議題  
審議内容（委員名削除）
- ・ 公表年月日：19年4月8日  
事務所に公開設置  
HP 掲載及び社内掲示  
FM カオン番組審議会報告番組 4月28日 5：00～5分間

- 9 その他の参考事項：  
特になし

社名	海老名エフエム放送株式会社
----	---------------